

2015年10月18日 主日礼拝

司 会 ①篠遠兄 ②宮川兄 ③広山兄

奏 楽

祈 禱 ①石橋兄 ②久保田兄

賛 美 聖歌498番「歌いつつ歩まん」
(海と空つられた主)(神様感謝します)

ヤバツの祈り

聖 書 ① ヤコブの手紙1章1～5節 (P360)
②③コリント人への第一の手紙3章16節
6章19～20節(新改訳)

音 楽 ① Cloud By Day
②③ミルトス

証 詞 ① 石田千枝子姉(ドルカス会)

メッセージ ① 「試練の捉え方」 久保田豊伝道師
②③「栄光の神殿」 奥田英男氏

賛 美 「明日はどんな日か」 (献金)
頌 栄 「主の祈り」
祝 禱 大川従道牧師

「あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。ですから自分のからだをもって、神の栄光を現しなさい。」
(「コリント六の二十・新改訳」)

【大和ニュース】

* 本日は「オータム・フェスタ」(秋のフリーマーケット)。昼食のお弁当は300円。お茶席もあります。16店舗。皆で楽しみましょう。

☆本日、奥田英男氏ご夫妻をお迎えて頂き大感謝！1時半からの「特別講座」も楽しみに！

・ 本日、入門講座Ⅲ、J. Plus等あり。

・ 東京カルバリーチャペルは、本日5時。ハイアットホテル「白鳳」。説教は大川牧師。地下駐車場は無料。SSと準備祈禱会は「弥生」。

・ 今週も祈禱会を大切に！水曜夜と木曜朝。説教は菅原岳副牧師。

・ 準備祈禱会は、金曜夜9時～10時半。説教は石橋雄介補教師。

☆ご結婚おめでとうございます。James Raguseo 様と西田玲美奈様。土曜14:00。

* 来週は、マレーシアのいやしの器レイモンド・ムーイ師を迎えます。ご期待下さい。

石の枕

動物と人間の共存、共生への認識、理解が深まり、広がっている傾向は喜ばしいことで、ますますそうあってほしいと願わざるをえません。

ソバ屋でメニューを見ていた小さな男の子が、おそば屋さんには動物が三匹いるんだねと言いました。親はタヌキとキツネはすぐ分かりましたが、もう一匹が分からない。そこで三匹目は何かなあとやんわり尋ねてみたら「それは大ざる」だったとさ。

動物愛護の精神はソバ屋においてもとはイイ話です。人間が動物を愛するだけでなく、動物によって人間が癒される面もありますから「共生」となるのでしょう。聖書にはこういう言葉があります。

「主よ、あなたは人と獣とを救われる。神よ、あなたのいつくしみはいかに尊いことでしょう」(詩篇36の6、7)。

神の愛と恵みのもと、共に生きることです。

ところで動物との違いの一つに、人間は笑うことができるという点があります。

「動物と違って、人間だけが笑うことができる。全く笑いを発明せざるを得ないほどにひどく悩んだのは人間だけだ」(ニーチェ)

いやあ、ニーチェらしい表現ですな。

一方、18世紀イギリスのチェスターフィールド卿は人間だけが、笑う能力をもつ生物だと聞いたとき、即座に言ったそうです。

「そのとおりだが、人間だけが笑いものになる生物だとつけ加えるべきだね」

(山北宣久先生の新刊書「一笑懸命」より)

サタン界では、救いを受けたのに「伝道しない、祈らない、聖書を読まない」人間を「笑いもの」扱いにしているかもしれない。

先週来られたフィンランドのヘイモネン宣教師夫妻は、私たちにとって大いなる恵みのプレゼントであった。ある人は「大ホームランでした」と言い、ある人は、その人格のすばらしさにふれて良き感化を得られた。ハレルヤ！

レーナ夫人は、見たことも行ったこともない日本を愛して、ご自分の愛猫に「日本」と命名し、祈りつつ少女時代を過ごしたとのこと。こうして、世界宣教の輪が広がられていくのであろう。木曜朝の家族の救いの証詞は、まさにリバイバルでありました。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！

Aコース: IIテサロニケ1章～Iテモテ4章 Bコース: イザヤ65章～エレミヤ13章